

溶液の交換・お手入れのしかた

交換・お手入れ前に、電源プラグをコンセントから抜いてください。

養液の交換 植物を交換するとき又、連続して栽培する場合でも2年に1度は養液を交換してください。

- ① かご鉢と植付台を本体から取り外します。
- ② 養液を捨て、容器本体と散気チューブを水洗いします。
散気チューブは指先で揉むように洗ってください。
- ③ 新しく養液を作ります。(P.2「使いかた step4」参照)
肥料は市販の微粉ハイポネックスをお買い求めください。
上限水位(約14L)に対して約40gを入れてください。

重要 ●肥料を入れすぎると植物は枯れてしまうので必ず量を守ってください。

ご注意 ●養液を交換しないと肥料不足となり、葉先の緑色がしだいにうすく黄緑色になります。また、花や葉がしだいに小さくなります。

お手入れのしかた

ご注意

- 植付台、かご鉢は水洗いしてください。
- 本体は容器内側以外は水洗いしないでください。
汚れたときは固く絞った布でふいてください。
- ベンジンやシンナー、みがき粉、金属たわし等は使わないでください

おかしいな?と思ったときは

おかしいな?と思ったときは次の点をお調べください。それでも直らないときは販売店にご相談ください。

症状	考えられる原因	処置
気泡が出ない	ポンプが動いていない。	電源、電源プラグを調べ、電源を入れてください。 それでもポンプが動かない場合は販売店に修理をご依頼ください。
	ポンプが動いているのに気泡が出ない。	散気チューブが目詰まりしている可能性があります。 散気チューブを水の中で手でみ洗いしてください。それでも気泡の出が悪いときは散気チューブを新品と交換してください。交換部品については販売店又は、製造元にご相談ください。

こんな植物が適しています

設置場所	栽培に適した植物
屋根のある日当たりの良いベランダ、バルコニー、テラス	●野菜(プチトマト、きゅうり、なす、ピーマン、ししとう など多数)
室内の窓辺	●観葉植物(ドラセナ、ベンジャミンゴム、アンズリューム など多数) ●ハーブ(バジル、パセリ、ペパーミント、ラベンダー など多数)
室内の日陰	●草花(シクラメン、リーガスゴベニア、スパティフィラム、 など多数)

※本器での栽培に適さない植物もあります。(例:セントポーリア、根菜類 など)

仕様

名称	POWER'S POT (パワーズポット)
型式	HNEC-3000
電源・周波数	AC100V 50/60Hz 共用
消費電力	2.3/2.4W(50/60Hz)
電源コード長さ	約1.6m
定格容量	約14L
機体寸法	61cm(幅) × 26cm(奥行) × 29cm(高さ)
質量	約2.7kg

泡で育てる水気耕栽培キット

POWER'S POT



パワーズ ポット



取扱説明書兼保証書

このたびは、『POWER'S POT (パワーズポット)』をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
●ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●お読みになった後は大切に保存し、必要なお読みください。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための重要な内容ですので、必ず守ってください。誤った取扱いをすると生じる危害や損害の程度を次の2つに区分して説明しています。

 警告	死亡または重症を負う可能性が想定される内容です。
 注意	傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容です。

 警告	
絶対に分解したり、改造はしない。 修理は本機お買い上げの販売店にご相談ください。	発火したり異常動作してけがをする恐れがあります。
水のかかりやすいところでは使用しない。 また、本体の容器内以外は水洗いしない。 ぬれた手で電源プラグに触らない。	ショート・感電の恐れがあります。
雷が鳴り出したら、電源プラグに触らない。 コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、 交流100V以外での使用はしない。 電源プラグとコンセントの接続箇所が水がかからないようにすること。 電源コードや電源プラグを傷つけない。 本機を火気の近くに置かない。 電源プラグは根元まで確実に差し込む。	感電・けがをする恐れがあります。
万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合、 必ず電源プラグをコンセントから抜く。 修理は本機お買い上げの販売店にご相談ください。 電源プラグに付いたほこり等は、乾いた布でふきとる。	故障・火災・感電の原因になります。
 注意	
不安定な場所で使わない。 本機の上に乗ったり、重いものを載せたりしない。	けがや転倒破損の原因になります。
電源プラグを抜くときはコードを引っ張らない。 お手入れをするときは、必ず電源プラグを抜く。	感電・ショート・発火の原因になります。
栽培を中止するときは、電源プラグをコンセントから抜く。	感電の原因になります。
小さなお子様のいる場所で植え付けなどの作業をしない。	絶縁劣化による漏電火災の原因になります。
	肥料やハイドロボールを誤飲する危険があります。

【販売元】



株式会社山善 家庭機器営業本部

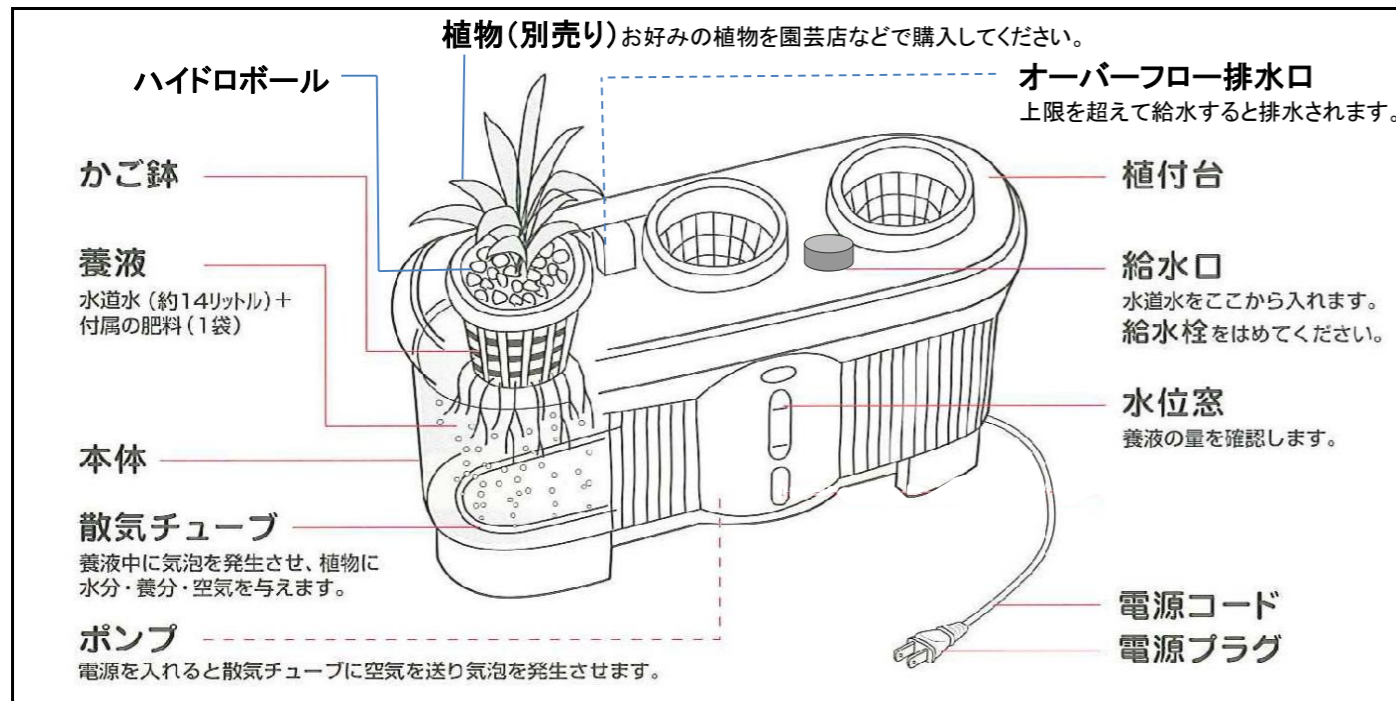
〒550-8660 大阪市西区立売堀2-3-16

【製造元】

みのる化成株式会社 〒709-0816 岡山県赤磐市下市388-1

TEL086-955-3419 FAX086-955-3135 お問い合わせ受付時間 10:00~17:00(土・日・祝日を除く)

各部のなまえ・はたらき



- 特徴**
- 手間いらず… 1度セットしたら、あとは水位窓を見て、水が減っていたら給水するだけ。毎日の水やりは不要です。
 - 自動栽培… 溶液中にポンプで気泡を発生させ、植物に水分・養分・空気を自動的に与えます。
 - 経済的… 1ヶ月の電気代 “約36円”(22円/Kwhの場合)

付属品

肥料(微粉ハイポネックス 40g)	補充される場合はホームセンター等で市販されている「微粉ハイポネックス」をお買い求めください。 パワーズポット本体水一杯(14ℓ)に対して40g使用します。
ハイドロボール 大粒(380g)	補充される場合はホームセンター等で市販されている「ハイドロボール 大粒」をお買い求めください。
吸水布	補充される場合はホームセンター等で市販されている「日本製紙クレシア ワイブオール」をお買い求めください。 尚、一般的なキッチンペーパーでも代用して頂けます。その場合はなるべく吸水力が良く、水に溶けないものをお選びください。

オプション品(別売り)

- トマトやキュウリなどの背が高くなる植物を栽培するとき便利なパワーズポット専用の支柱ネットを別売りで販売しています。

組立式(組立て方説明書付き)

希望小売価格 ¥2,980(税込み)

お求めは販売店または下記アドレスからお買い求めください。

<http://ecot-plus.com/>



使いかた

- Step 1 設置**
- 日当たりの良い室内、もしくは屋根のあるベランダや軒下など直接雨水がかからない場所に置いてください。
 - エアコンなどの冷暖房の気流が直接当たらない場所に置いてください。
 - 必ず平坦な場所に置いてください。

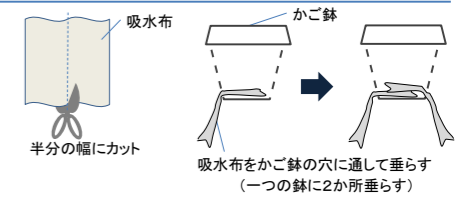


重要 日当たりが悪いと光線不足で上手く育ちません。

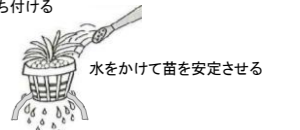
- Step 2 苗準備**
- ホームセンター、園芸店などで野菜、ハーブ、観葉植物などの3~4号鉢の苗をお求めください。



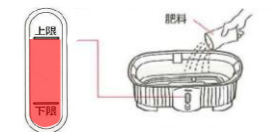
- Step 3 移植**
- 付属の吸水布を約半分の幅にハサミでカットします。カットした吸水布の端を丸めてかご鉢の側面の穴に通して垂らします。
 - 一つのかご鉢に2か所垂らします。(かご鉢を本体にセットしたとき吸水布が水につかるように垂らします。)
 - 苗を鉢やポットから抜き、土のついたままかご鉢に移します。苗が動かないようにハイドロボールで固定します。
 - かご鉢の底を軽く数回床に打ち付けて苗の土・ハイドロボール・かご鉢をよくなじませ、隙間がないようにします。



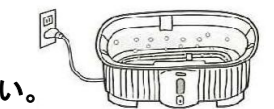
重要 植え付けがすんだら十分に水をかけ、苗をしっかり固定して安定させて下さい。



- Step 4 養液**
- 水道水を水位窓の上限(約14ℓ)まで入れます。
 - 付属の肥料1袋(微粉ハイポネックス40g)を入れてよくかき混ぜます。



- Step 5 電源ON**
- 電源プラグをコンセントに差し込むとポンプが稼働して気泡が出ます。
- 重要** 必ず気泡が出ていることを確かめてください。気泡が出ない場合は散気チューブを水でもみ洗いしてください。P.3『おかしいな?と思ったときは』を参照してください。



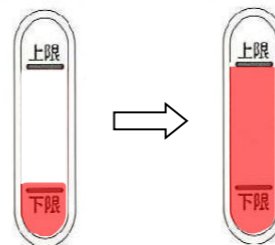
- Step 6 栽培開始**
- 植付台とかご鉢をセットします。給水口に給水栓をはめます。これでOK!あとは本器が自動栽培します。
- 重要** 必ず3鉢とも植え付けてお使いください。空のかご鉢があると水しぶきが飛んで外に出たり光が養液に差し込みアオコが発生します。



栽培が終わった鉢は順次、新しい植物に植え替えてお楽しみください。
ハイドロボールは水洗いすれば何度でも使えますが、補充する場合は市販品をお買い求めください。

給水のしかた

- 水位窓を見て、水位が下限に差し掛かったら給水口から水道水を上限まで入れてください。また、給水後は必ず給水栓をはめてください。



ご注意 水の入れすぎに注意してください。上限を超えて水を入れると本体背面のオーバーフロー排水口から水があふれ出します。